仕入先取引条件更新票 項目説明

使用目的 新規取引先の登録及び、登録済取引先の内容の変更を行う時、コンピュータへの入力原始票として 使用する。新規登録の売上先・仕入先の場合は、必ず取引先条件更新票も起票する。

1 3	[☆]	取引条件更新	- 2007.08.20 3年(
	(申請日	日 年月日)	
ţ	<u> </u>	※原則として一社一条	全件のこと
	- 先コード	仕入品名	取引 区分
通常時一小額時一備	支払方法 振込サイト 相殺可能 0: (期日) 現金 手形サイト 区分 1: 手形 0: 可能 2: 期日前現金 日 1: 不能 適用金額 及び 支払方法 交払方法	_	本体 0:切捨 (数量×単価の計算時に小数な
考 (3	東項目の実施日・ 年 月 日)		計算 1:四捨五入 ある場合の丸め方法。 区分 2:切上 既定値=四捨五入) 「入力印」 「所属長 担当印 」起源
(3	更項目 更前 支払日を起算にサイトを決定した取引先であっても、締日起算 D 月末日締め翌月20日支払で手形サイトが支払日起算100日の))	

- 1. 印は記入必須、 印は必要に応じて記入すること。
- 2. 選択項目で、いずれかに 印がない場合は"0"の方でコンピュ タ処理される。
- 3. 登録の場合は登録に、変更の場合は変更に 印をつけて、変更項目を必ず記入すること。

<u> </u>	SALE SECTION	2200		,10	
No	項目名	登録	変更		記 入 要 領
	λ +14€ Dil				起票した更新票の種類が、新規登録・変更のいずれに当た
	入力種別				るのか、該当項目をで囲む。
	申請日				起票者が起票を行った年月日を西暦で記入する。
	地区コード				取引先(仕入先)の管理がいずれの地区に当たるのか、
					左に地区コード、右に地区名を記入する。
	仕入先コード 仕入先名				新規登録の取引先(仕入先)については、アイティエスで記
					│ 入する。変更・削除の場合は、起票者が現行コードを記入す
	正人〇日				් ර ී
	仕入品名				仕入先より仕入する主たる仕入品名を記入する。
					(登録の場合のみ)
	取引区分				仕入先取引条件書の該当する区分を記入する。
	締 日				支払締日を記入する。
	支払方法				該当項目をで囲む。
	振込サイト				
	手形サイト				締日起算のサイト(日数)を記入する。
	相殺可能区分				該当項目を で囲む。

1 🕏	₩ · 2 変更 仕入先]	取引条件更新		- 2007.08.20 版 3年[集
t	Ł 🗵	※原則として一社一	-条件のこと	
	先コード 入先名	仕入品名		取引区分
通常時小額時備	支払方法	2算の日数を記入※	1 11114 1111	文量×単価の計算時に小数が
考 (変	要項目の実施日・ 年 月 日)		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5る場合の丸め方法。 R定値=四捨五人) 所属長 担当印 起票8
(3)更項目 更前 支払日を起算にサイトを決定した取引先であっても、締日起算の) 月末日締め翌月20日支払で手形サイトが支払日起算100日の)) ・ サイトに直して記入のこと 場合、サイトは締日起算の12		起票者

No	項目名	登録	変更	記 入 要 領
	小額時適用金額			普通は通常時の取引条件であるが、締日間での合計金額 がある金額以下の場合は、通常時の取引条件と一部異なる
	及び支払方法			条件で取引をするといった切換になる金額があれば、その 金額と支払方法を記入する。
	備考			何かコメントがあれば記入する。
	本体計算区分			該当項目をで囲む。
	変更項目の実施			1の入力種別で"2"の変更を で囲んだ場合、変更を実
	日			施する年月日を西暦で記入する。
	変更項目			1の入力種別で"2"の変更を で囲んだ場合、どの項目
	変更前			を変更するのか変更する項目と変更前の内容を記入する。
	入力印			コンピュータ入力者が押印する。
	所属長			所属長が確認印を押す。
	担当印			担当者が確認印を押す。
	起票印			起票者が押印する。
	起票者			起票者の社員コードを記入する。